

# 『クリッパンの老人たち―スウェーデンの高齢者ケア』



石井 敏

東北工業大学建築学部長・  
建築学科長・教授



外山義著

大学の先輩で、研究上の恩師、またあこがれと目標だった故外山義先生の書『クリッパンの老人たち』。仙台で建築を学び、東京での設計事務所生活を経てスウェーデンに留学した同氏は1989年に帰国後、日本の高齢者施設のあり方を革命的に変えた。建築を超えたさまざまな分野の人が彼の「言葉」に触れ、動かされた。

70―80年代はスウェーデンが福祉国家として劇的に変化し、世界から注目を浴びた時代。彼は7年間滞在し、現地語を習得して高齢者との交流やインタビューを重ねた。

ありのままの「その人」を伝えるプロ

## 人と社会を洞察する

ローグと1章はいつ読んでも心が揺さぶられる。

福祉先進国の当時の状況を解説した書籍としても読めるが、全編を通して伝えられることは、私たちを包み込む社会はどうあるべきなのかという問いかけと、その中で「建築」や「住まい」への視座である。

「人生を最後まで歩み切ってゆけぬ姿が、どんなに深い感動を他者に与えてくれるものか、そしてそれを可能とするため、私たちはそれぞれ何をしなければよいのか」(あとがき)。冷静かつ客観的に、しかし温かく希望をもって人と社会を洞察する姿は、人として、また研究者として私が追い求める姿でもある。

(ドメス出版、3000円＋税)

